



# JICAME 通信

JICA カメルーン事務所  
2013年1月号 第7号

## ★★ 1月の予定 ★★

### 【事業・事務所の動き】

1月14日 - 1月21日：  
森健康管理員 ガボン出張

1月16日：  
中小企業支援セミナー  
(於：ヤウンデ)

1月25日：  
ボランティア総会 1日目  
(於：Hotel AZUR)

1月26日：  
ボランティア総会 2日目  
(於：ボランティア連絡所)

### 【人の動き】

1月2日  
平成22年度3次隊 離任  
・加藤 伸治 JV 小学校教諭  
・山下 真紀 JV 幼児教育

1月9日  
平成24年度3次隊 5名赴任  
・田嶋 祐太郎 JV 村落開発普及員  
・山本 主税 JV 村落開発普及員  
・山本 彩織 JV 村落開発普及員  
・矢尾 明子 JV 幼児教育  
・笠江 菜生 JV 幼児教育

### 【目次】

1. 第五次小学校建設起工式の実施
2. 中小企業診断士の役割は海外でも日本でも触媒
3. NERICA 栽培研修 丸山 順平 JV(野菜栽培)

## カメルーン

### 「第5次小学校建設計画起工式」の実施

JICA カメルーン事務所 桑畑 美津子

2012年12月21日小学校建設計画（第5次）の起工式が行われました。同計画により17サイト（31校）において202教室が整備されます。

カメルーンでは、1997年以降小学校建設が継続して実施されており、今次計画ではこれまで介入のなかった州に建設が行われます。これにより同国全10州において、日本の小学校が合計126サイト、1533教室に渡って建設されることになります。加えて、今次対象の北西州は、現首相の出身地であることから、教育省関係者を始めとした国民全体の期待と注目を集めています。

実際、カ国における「日本の学校建設」のプレゼンスは大きく、援助関係者以外の方からも高い評価を受けており、JICAといえば、まず「Ecole Japonaise（日本の学校）」と思う人が多いようです。

また、最近では、教育省独自のイニシアティブで、「日本の学校建設マニュアル作成セミナー」が開催され、同レベルの建設ノウハウを国内に蓄積する試みがなされたり、「きれいな学校コンクール」を定期的に企画し、維持管理が良好になされている学校を表彰する等、自立した取り組みがなされています。

今回の起工式には、カメルーン側からは、基礎教育省ハディジャ・アリム大臣始め教育省関係者及び州知事含む役員が多数出席されました。大臣からは、首相によるメッセージを織り交ぜたスピーチがなされ、住民は大満足の様子でした。日本側からは、新井勉大使が出席され、贈られた地域民族衣装をまとい、英語圏地域の住民に合わせた英仏語によるスピーチがなされ、住民から大喝采を受けました。



住民から喝采を受ける新井大使



ハディジャ大臣と新井大使  
記念碑の前で

## カメルーンの中企業振興支援を通じた「産業人材育成」に挑む！

# 【第2回】中企業診断士の役割は、海外でも日本でも“触媒”

中企業振興政策支援アドバイザー 吉村 守

吉村専門家は、2012年の4月からJICAの派遣専門家として、中企業・社会経済・手工業省（MINPMEESA）においてカメルーンで中企業振興政策を支援するアドバイザーとして活躍されています。2012年10月号「カメルーンで活かす日本の中企業勤務&支援経験」に続き、現在進行形の国際協力活動の実際をレポート頂きます。

### 中企業振興関連機関と中企業へ「MINPMEESA に対する要望」を直接ヒアリング



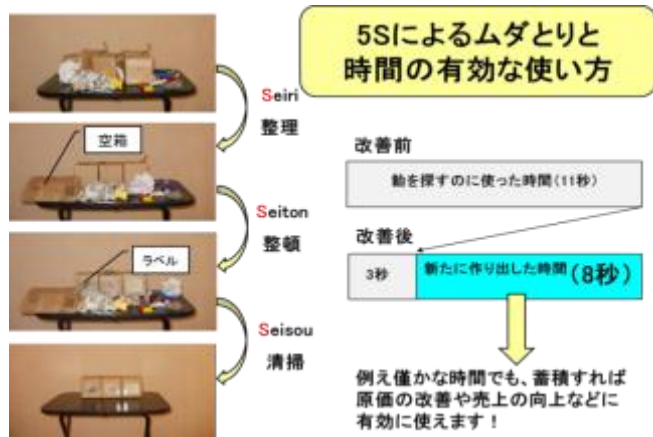
印刷屋さんの起業家夫妻

MINPMEESAは、首都ヤウンデの他、カメルーンの最大都市ドゥアラと地方都市バフサム、バメンダ、ガロアに中企業振興支援のパイロット拠点を設置することを検討しています。

我々は、将来このパイロット拠点が出来た場合にどのような振興支援を望むかを関連機関や中企業経営者に直接ヒアリングするため、ドゥアラ、バフサム、バメンダのラウンドトリップを計画し実行しました。

関連機関へのヒアリングでは、今までの活動の不具合を指摘する意見もありましたが、中企業振興支援の役割をMINPMEESAと共有したいという積極的な姿勢を示す機関が多く心強く感じました。また、MINPMEESA支所の会議室に集まった起業家や経営者からの要望は、単に装置購入の資金支援を望む声などもありましたが、競合力を高めるための技術力強化支援やビジネスプラン作成などの経営力強化支援を望む声など積極的な意見が沢山聴かれました。

せっかく集まって下さった起業家や中企業の皆さんに“何かお土産を！”と思い、5SやKAIZENなど日本の改善活動や経営診断などの中企業支援活動について説明しました。5Sの説明は、乱雑に置かれた5つの箱の中から“黄色い飴を探す時間”が、整理・整頓で短縮できることを、簡単な実験を実演して体験して貰いました。深く頷いてくださる方が多く、こういった手法や考え方を受け入れて貰える手応えがありました。



### 地方の支援機関訪問や中企業支援トライアルを通じて起こっているMINPMEESA 職員の变化

前述のラウンドトリップでは、まずパイロット拠点の構想についてMINPMEESAのKey Man(若手職員)から説明して貰い、質問や意見に答えるというスタイルを取りました。自分も参考になりそうな日本の事例や考え方を適宜説明し、彼をサポートしました。

このラウンドトリップを通して、彼(Key Man)が明らかに高いモチベーションを示すようになりました。例を挙げれば、精神的に他の人達をリードする発言をしたり、ヤウンデの中企業支援トライアル(経営診断と改善支援)の切り盛りを一手に引き受けたり、「中企業支援トライアルに“英語圏で起業家スピリットの強い”バメンダも追加したい。」という私の意見に、私以上の意欲で同意し、バメンダの支所長との調整を一気に進めるなど、“目に見える変化”が起こっています。これは私見ですが、中企業診断士の一番大切な役割は日本でも海外でも人や組織を活性化させる“触媒の機能”だと思います。

最近更に嬉しいことが起こりつつあります。カウンターパートのトップ(中企業局長)が「私も、ヤウンデやバメンダの中企業支援トライアルに行きたい。」と言い出しています。これは、日本的な“ボトムアップ”の変化であり、とても良い兆候です。

### モチベーションの維持・発展と外部関係機関との連携強化

カウンターパートの“目に見える変化”に感動しながら、MINPMEESAの皆と経営診断・改善支援を1社あたり4回～5回の日程で実施しています。

支援トライアルの対象に選定した企業からは、「2週間おきでは足りない。毎週来て欲しい。」といった要望や「自社のコア部分を全て見せるから、改善のアドバイスをして欲しい。」といったコメントを頂いています。時間も限られた中での活動なので、満足いく内容を提供できるか不安もありますが、120%頑張る積りです。



トライアルに参加したバメンダの参加者と共に

私は、MINPMEESAの仲間達とこの計画を確実に実現出来るよう挑戦を続けていきます。本記事は、J-Net21「中企業診断士の広場」に掲載された記事を一部編集した内容です ([http://j-net21.smri.go.jp/know/s\\_hiroba](http://j-net21.smri.go.jp/know/s_hiroba))。

## 第5回 活動紹介「NERICA 栽培」

青年海外協力隊 平成23年度4次隊 野菜栽培 丸山 順平

丸山隊員は、ヤウンデから50キロほど離れた地方都市「エコアジョン」で野菜栽培技術の指導をしています。今回は、カメルーン・ガボン隊員を対象としたNERICA米研修の様子を報告していただきました。

私は今回、NERICAの概要から栽培知識・技術会得のために11月13日から16日までIRADの施設を中心に古川佳奈子JV、丸山の2名で研修を受けました。

1日目はNERICAの概要やJICAの行っているカメルーンにおけるNERICA普及の概要についての講義を受けました。2日目からはIRADの圃場にて実際に稲を見ながら、年間を通しての栽培過程(播種選別、肥料計算、圃場選別、畝作り、播種、収穫、脱穀、精米など)を見るだけでなく実際に体験することで、体得できたと思います。15日の最後には今までの3日間で学んだ内容の復習テストを受け、知識を定着させました。



NERICAに関する講義の様子

そして、最終日には日帰りでエボロワにある圃場見学や実際に栽培を行っている農家の見学を行い研修終了しました。



実際に栽培を行っている農家研修

今回のNERICA研修では隣国ガボンから隊員3名も参加し、15日にはガボン隊員による活動紹介やガボンの稲作栽培状況紹介の時間があるなど、NERICA栽培だけでなく多くのことを学ぶことができました。

今回研修を受けさせていただき、NERICAの知識を私が得るだけでなく配属先のディレクターも参加したことで、今後の活動に活かし易くなったのではないかと考えています。

今後の展望としては、3月の雨季前に任地なるべく多くの農家さんを対象にセミナーを開催し、今回の研修で得ることのできた知識・技術を広めたいと考えています。



NERICA米を収穫する丸山隊員



NERICA研修に出席した関係者一同

JICAME 通信へのお問い合わせは以下までお願いします。

お問い合わせ先 : [ca\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:ca_oso_rep@jica.go.jp) カメルーン事務所ホームページ : <http://www.jica.go.jp/cameroon/office/index.html>